

防 災 と 減 災 に つ い て (1)

香住丘校区自主防災会

はじめに

去る 4 月 14 日夜の前震、16 日深夜の本震とその余震が未だ続いている熊本地震ではその揺れに驚き、平成 17 年 3 月の福岡西方沖地震の恐ろしい記憶が蘇った事と思います。

地震はいつ起こるか分らないので、常日頃からその備えが必要です。

皆さんの防災準備は進んでいますか。何時の間にか忘れていませんか。

恥ずかしながら、かく言う私も防災準備は不十分です・・・。

皆さんとご一緒に防災・減災について勉強し、出来ることから必要な準備・対策をしてゆきませんか。

1. 災害について

災害とは自然現象すなわち天変地異を原因とするものと人為的な原因によって、人命等に被害が生じる事態です。

- ① 自然現象には、地震(がけ崩れ、液状化、津波等)、台風、土砂崩れ(がけ崩れ、土石流、地滑り等)、洪水、火山噴火(降灰、噴石、火砕流、溶岩流等)、竜巻、高潮、豪雨、落雷、気候変動(海面上昇、寒波、熱波、冷夏等)等々があります。
- ② 人災には火事、爆発、交通事故(列車、航空、海難)、石油流出、化学物質汚染、原子力事故、戦争、テロ等々があります。

自然現象に対して我々は殆ど無力であり何もできませんが、これらの自然現象から起こる災害についてはその被害を極力減らす事が可能です。この対策を防災・減災と呼び、このために何をすれば良いのかを中心に今後の話を進めます。

次回は地震・私達周囲の断層についてお話します。

防災と減災について(2)

香住丘校区自主防災会

2. 地震についてのお話

今回はチョット難しいかもしれませんが我慢して読んで下さい。

(1) 地震の発生原因

地震の発生原因は次のようなものがあります。

- ① **海溝型地震**：日本が乗っている大陸プレート（北米プレートとユーラシアプレート）の下に太平洋プレートとフィリピン海プレートが沈み込み、プレート間に歪が蓄積され、限界に達すると大陸プレートが跳ね上がり大地震が起こり更に津波を起こします。巨大地震となり被害は広範囲に及ぶことがあります。東日本大震災がその例です。
- ② **内陸直下型地震**：活断層の活動によるもので、断層の面を境にして両側の岩盤がずれ合う現象でその岩盤が上下（例えば、阪神・淡路大震災）又は水平（例えば、今回の熊本大地震）にずれる事により地震が起こります。通常震源が浅いため地表は激しく揺れ局所的に甚大な災害となります。
- ③ その他火山性地震、群発地震等

(2) 私達が住む香住ヶ丘はどうなっているのでしょうか？

- ① かなり高い発生確率とされています海溝型地震である南海トラフが起こった場合、揺れもありますが、高さ 2.5M 強の津波が博多湾にくると予想されています。従って、海岸沿いにお住まいの方は高台に避難しなければなりません。
- ② 内陸直下型地震を起こす活断層は、添付の断層地図のように、香住ヶ丘周りに三つもあります。

宇美断層：この断層は筑紫野市～須恵町～牧の鼻まで約 23KM にわたって、香住ヶ丘の真下に存在している可能性があります。この断層により今後 30 年以内に起こる地震の確率はほぼ 0 です。安心！！でも他の地震により誘発されることがあるかもしれませんから、油断は禁物です。

警固断層：筑紫野市～大宰府～福岡市中央区～玄界灘へと 55KM に及ぶ断層で、今後 30 年以内に起こる確率は 0.3～6%、震度 7.0～7.7 と予想されていますので、起こったらかなりの被害が出る事懸念されます。

西山断層：宗像市沖ノ島～津屋崎～嘉麻～朝倉に至る 111KM の長い断層です。今後 30 年以内に起こる確率は試算されていませんが、震度は 7.2～8.2 と予想されています。

※地震の起こる確率は低いようですが、準備開始するのは今です！

